

### 5-1 目標

本計画を推進するため、目標値を定めます。

- 居住誘導区域で人口密度が維持されているかを把握します。

	現状値	目標値
	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 42 年度 (2030 年度)
DID 人口密度	10,363 人/km <sup>2</sup>	9,853 人/km <sup>2</sup> 以上
総人口に占める DID 人口の割合	96.3 %	現状値以上
総面積に占める DID 面積の割合	31.5 %	現状値以下

(参考) 現状値及び目標値の算定の考え方

	現状値	目標値	
	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 42 年度 (2030 年度)	対現状比
DID 人口密度	10,363 人/km <sup>2</sup>	9,853 人/km <sup>2</sup>	95.1%
総人口	357,359 人	339,695 人	95.1%
DID 人口	344,050 人	327,126 人	95.1%
DID 面積	33.2 km <sup>2</sup>	33.2 km <sup>2</sup>	100.0%
総人口に占める DID 人口の割合	96.3 %	96.3 %	100.0%

※現状値は直近の国勢調査（2010 年）の値を用いています。

※目標値における DID 人口密度は、社人研「日本の地域別将来推計人口」（2013 年 3 月推計）における平成 42 年度（2030 年度）の総人口の推計値を基に、現状値の DID 面積及び総人口に占める DID 人口の割合を用いて算定しています。

- 都市機能誘導区域の誘導施設の充足状況を把握します。

	都市機能誘導区域		現状値	目標値
			平成 28 年度 (2016 年度)	平成 42 年度 (2030 年度)
誘導施設の充足率	都市拠点	高槻駅周辺	78 % ( 7 / 9 )	100 %
		富田駅周辺	60 % ( 3 / 5 )	
	生活拠点 (12 か所)		83 % ( 10 / 12 )	

※生活拠点の現状値は、誘導施設（スーパーマーケット）の規模は考慮していません。

## 5-2 進捗管理

計画を着実に実行していくためには、取組の進捗状況をチェックし、必要に応じて見直しを行うことが必要です。

PDCA サイクルに基づいて進捗管理を行い、計画を推進する上での課題やより効果的な取組の実施について検討を行います。そして、都市計画マスタープランの見直し時や、都市構造に係る大きな変化があった場合などに計画の見直しを行うことにより、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの更なる推進を図ります。

また、進捗状況については、市のホームページなどで公表していきます。

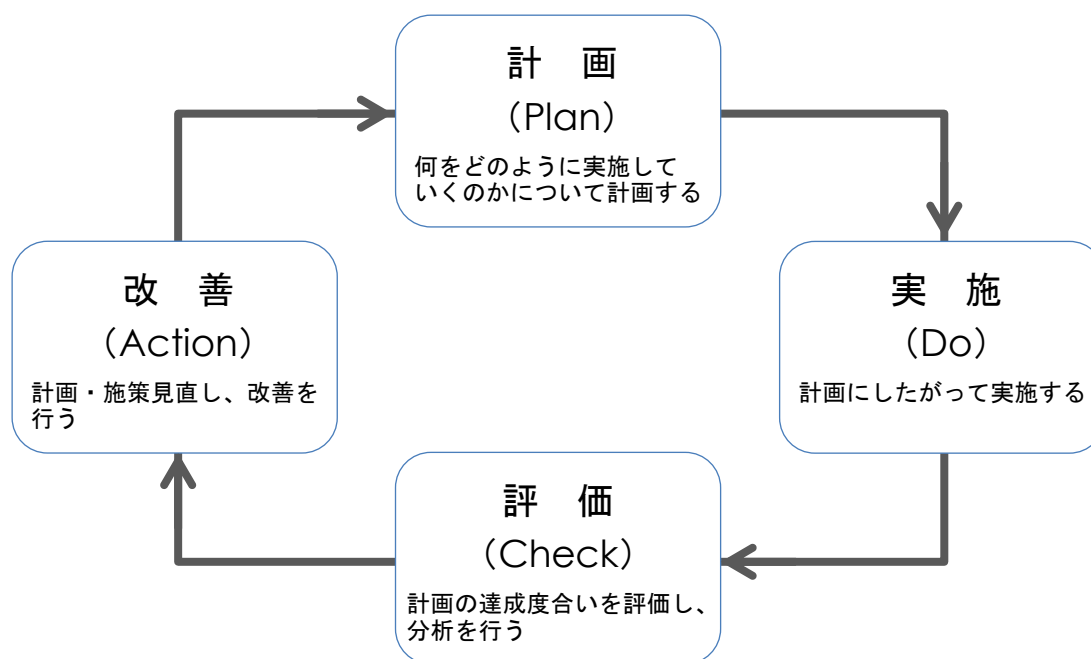


図 5-1 PDCA サイクル

